



企画展 主催：恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

お江戸 草花デザイン集

会期

6.18(木) ▶ 7.19(日)

Exhibition **Design Collection of Flowers in Edo**

dates: **June 18th (Thu) ▶ July 19th (Sun)**

当盛十花撰お披露目



中山道広重美術館

Hiroshige Museum of Art, Ena

毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー
(スポンサー)
(株)銀の森コーポレーション、
木曾路物産(株)、(株)サラダコスモ



Exhibition Design Collection of Flowers in Edo

dates: June 18th (Thu) ▶ July 19th (Sun)

四季折々華やかに咲きそろう花たちは、新たな季節の訪れを知らせ、その姿は古くから日本人の心を癒し、愛好されてきました。花や鳥をモチーフとして絵を描くことが中国から伝わると、もとより花への関心が高かった日本文化に浸透するのは難しいことではありませんでした。季節を象徴するモチーフとなる草花の瑞々しい姿と生命力にあやかり、絵画はもちろん衣装や生活用品までさまざまな形で表現されました。

本展では、新規収蔵となった歌川広重の「芙蓉(ふよう)」をはじめとした花鳥画や、三代歌川豊国との合筆による《当盛十花撰》揃いのお披露目と共に、当館収蔵のドームのガラス工芸なども展示します。多彩に表現された草花の姿をご覧ください。



《図版》

歌川広重「芙蓉」
中短冊判錦絵
天保14～弘化4年(1843-47)
頃 当館蔵

芙蓉は古くから観賞植物として親しまれ、浮世絵にも多く描かれています。本図は中短冊版という細長い構図を生かして植物の表情を捉えています。画面中央を貫くように真っすぐ伸びた茎からいくつも大きな葉が生え、芙蓉の花は薄紅と紅の柔らかな色調で表されています。朝に咲いて夕方にはしぼむ一日花で、花を次々と咲かせます。上部のつぼみも今まさに咲こうとしています。植物の細部にまで気を配った、広重の温かい眼差しを感じさせます。

お江戸 草花デザイン集

企画展

主催・恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

当盛十花撰 お披露目

会期 6.18(木) ▶ 7.19(日)

- 観覧料
大人/520円(420円) ()内は20名以上の団体料金
※18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。
- 開館時間
午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日
毎週月曜日

関連イベント

- 学芸員による作品ガイド
日時:7.5(日) 午前10時30分～(30分程度)
場所:展示室1(1F)
- 解説ボランティア幽遊会による作品ガイド
日時:随時(要事前予約)

※当館ホームページ、SNSなどで開館情報をご確認の上、ご来館ください。

中山道広重美術館

Hiroshige Museum of Art, Ena

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町76-1
TEL 0573-20-0522 FAX 0573-25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>

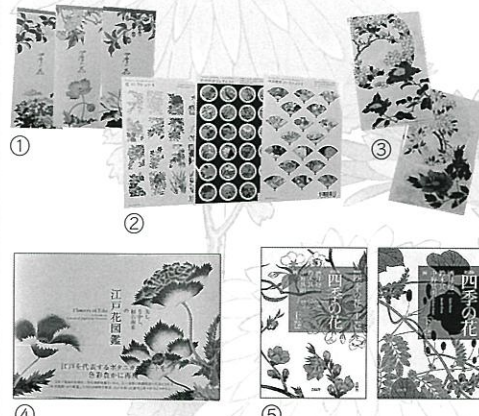
毎週金曜日は観覧無料、フリーライダー
(スポンサー) (株) 銀の森コーポレーション、
木曽路物産(株)、(株) サラダコスモ



Museum Shop News

ミュージアムショップからのお知らせ
気持ち華やぐお花のグッズ

企画展「お江戸草花デザイン集」に合わせて芸艸堂さんの草花をモチーフにした商品を販売いたします。一筆箋「四季の花;抱一・其一他」、シール「若冲画譜コレクション」「花コレクション」、ポケットミニファイル「若冲」など、持ち歩けるサイズの文房具です。他にも書籍「美し、をかし、和名由来の江戸花図鑑」(田島一彦著 バイインターナショナル発行)、「四季の花 酒井抱一、鈴木其一、中野其明画」上下巻(解説今橋理子 青幻舎発行)等も入荷しました。
日常から離れて、ゆったりと花を愛でる時間を作ってみてはいかがでしょうか。



①一筆箋各種 440円 ②シール各種 330円 ③ポケットファイル各種 330円
④書籍 江戸花図鑑 3,080円 ⑤書籍 四季の花上下巻ともに 2,530円 ※価格は全て税込